

～第一部～

「三つのオペラ物語から有名なアリアを」

モーツァルト作曲 歌劇「フィガロの結婚」より

♪ 5、10、20・・・

高嶋優羽さん・迎肇聡さん

幕開けに歌われる、主人公フィガロとスザンナが歌う二重唱です。伯爵の家来フィガロは部屋に置くベッドのサイズを測るのに夢中。そして伯爵夫人の小間使いスザンナは自分の作ったベールを自慢しにやってきます。

♪ 恋とはどんなものかしら

高嶋優羽さん

フィガロの結婚にはお小姓役のケルビーノという伯爵夫人に恋する、おませでナルシストな男の子が登場します。この役は「ズボン役」という、女性が男装して演じる役です。恋の悩みに酔いしれ、恋に恋する思春期の少年の繊細な心が、女性が歌うことによって、より美しく表現されています。

♪ もはや飛ぶまいこの蝶々

迎肇聡さん

色々な女性と一緒にいることがバレてしまったケルビーノ。そんな彼に、伯爵は戦地へ向かうよう命令します。浮かない顔で落ち込むケルビーノをフィガロが豪快に励ますアリアです。

ビゼー作曲 歌劇「カルメン」より

♪ ハバネラ

井川裕子さん

タバコ工場で働くジプシーカルメン。恋と自由を謳歌する彼女の登場シーンで歌われるのが「ハバネラ」です。

「恋は気ままな小鳥。もしあたしに惚れられたら、気をつけなよ！」

♪ 闘牛士の歌

迎肇聡さん

このオペラでもうひとり色気を振りまくのが、花形闘牛士・エスカミーリョです。多くのファンに取り囲まれながら、トレアドール「闘牛士の歌」で登場します。

♪ セギリーディア

井川裕子さん

ケンカで逮捕されたカルメンが、兵隊のドン・ホセを歌いながら誘惑し、縄を解くよう仕向けます。

プッチーニ作曲 歌劇「蝶々夫人」より

♪ 愛の二重唱

中川京子さん・清水徹太郎さん

明治初期の日本、長崎を舞台に、アメリカ海軍の軍人である夫・ピンカートンと日本人の妻・蝶々さんの悲恋を描いたオペラ。二人が結婚の儀式のあと、夜の庭で愛を語る二重唱です。

♪ ある晴れた日に

中川京子さん

二人が結ばれた数ヵ月後、任務のためピンカートンは母国アメリカに帰って行きます。音信不通のまま、3年の月日が流れます。彼の帰りを信じて疑わない蝶々さんは、彼が帰ってくる光景を思い浮かべながら、「ある晴れた日に、海の彼方にまっすぐな煙が立ち上り、船が現れるの…」と語り始めます。

～第二部～

♪ 帰れソレントへ、サンタルチア、マッティナータ、カタリカタリ等 清水徹太郎さんほか

～フィナーレ～

♪ 「オーソーレミーオ」

全員

～中締めのご挨拶～

大塚道夫宝友会幹事長



ソプラノ 高嶋優羽

大阪音楽大学音楽専攻科声楽専攻修了。渡邊弓子、テッド・テイラーに師事。数々のコンサートやオペラの主役を演じている。NHK 朝のクラシックなどテレビ・ラジオにも出演。関西二期会会員

ソプラノ 中川京子

大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業、田口興輔に師事。
現在、東京中心にコンサートやディナーショーで活躍、好評を博している。

メゾ・ソプラノ 井川裕子

大阪音楽大学大学院修了。ミラノ市立音楽院にて研鑽を積む。ヨーロッパ各地で「蝶々夫人」等を好演。オペラ・宗教作品など出演多数。関西二期会会員。大阪音楽大学演奏員。

テノール 清水徹太郎

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。オペラ・宗教曲等他多方面で活躍中。びわ湖ホール四大テノールのメンバーとしても舞台・TV等で活動している。

バリトン 迎肇聡（むかいただとし）

大阪音楽大学卒業。第 54 回全日本学生音楽コンクール第 1 位。オペラ主役、宗教曲ソリストなどを務め幅広い活躍をしている。題名のない音楽会などにも出演。現在びわ湖ホール専属声楽アンサンブル歌手。

チェロ 西川彩乃

相愛高校音楽科を経て、学費全額免除の特別奨学生として相愛大学音楽学部を卒業。アルバム「secret marriage」が世界 21 カ国でデジタル配信されている。

ピアノ 高島春樹

カナダ生まれ。4 歳からクラシックピアノを始めその才能を発揮。神戸大学在学中から演奏活動を始め。東京・大阪・神戸中心に全国各地で演奏活動を展開し、その即興性豊かな表現で聴衆を魅了している。スカパーフェクトテレビでも紹介されている。

ピアノ 大原亜樹子

大阪音楽大学卒業。同大学音楽学部専攻科修了。NHK-FM「ニューエイジ・クラシック」に出演。神戸市混声合唱団ピアニストとして活躍。